

# 総務常任委員会 所管事務調査報告書

地方創生を生かしたコンパクトシティ構想について

平成29年3月

## 1 調査の事件名

地方創生を生かしたコンパクトシティ構想について

## 2 調査の目的

第3次総合計画の視点を含めた本市のまちづくりを考える。

## 3 調査の課題と報告

### (1) 平成28年度 第1回京田辺市議会定例会市政方針

石井明三市長から「コンパクトシティ構想」について述べられる。その計画地は両駅(JR京田辺・近鉄新田辺)の北側に位置しており、駅から1km以内を市街化区域に編入し、都市的土地利用を行い、都市機能の充実を図ることを目的に、施設用地の受け皿のための早期開発に着手する計画である。本市が目指す都市像は次の内容である。

本市域内には、JR・近鉄と2線の鉄道路線が9駅あり、その中で、JR京田辺駅と近鉄新田辺駅が、共に市中心部に近接して位置している。本市の目標とする都市像は、この2駅間とその周辺(概ね1km以内)を1つのモールとして都市機能(商業・業務、公共サービス、福祉・医療)を集約するとともに、市北部と南部を鉄道で連携する「京田辺市集約型都市構造」をつくることで、これらの機能を今後さらに集約していくことを目指している。

### (2) 平成28年3月10日 企画政策部への事務調査

市政方針を受け、関係部局へ整備計画について説明を求めるために事務調査を実施した。内容は以下のとおりである。

- ① 平成28年度をまちづくりプランスタートの年と位置付け、活力あるコンパクトシティ推進施策事業を展開する。
- ② 計画的な土地利用の推進により市街地整備では、魅力的な都市環境を備えた利便性の高い快適なまちづくりを一層進めるため、京都府田辺総合庁舎北側において、新たな複合型公共施設や商業施設を核とした、「新市街地」整備に向けた取組みを進める。
- ③ 新田辺駅東側においても、駅前としての機能と価値が高まるよう、地方創生や一億総活躍社会づくりの施策・事業により、加速化交付金や新型交付金等のあらゆる交付金や補助金を活用して、駅前広場や道路整備、提案のある企業誘致にも取り組みたい。
- ④ 調査後の委員会討議で、市の考え方や構想において不透明な点が多いことが共通認識となり、他の自治体へ管外視察調査の実施も含め、調査継続の必要性を確認した。

### (3) 愛知県東海市管外視察調査

#### 【東海大田川駅周辺土地区画整理事業について】

本市の計画に類似している先進地自治体を選定し、視察調査をおこなった。東海市のプラン策定にあたっては、多くの市民の要望を聞き、複合型文化施設の建設をきっかけに、文化芸術の力を生かし、文化施策を総合的に推進するため計画された。複合型文化施設を中心とした「文化創造拠点ネットワーク」を通じて、市全体の文化振興を図り、各種団体等との相乗効果が得られるような連携と協働が進められた。



東海市芸術劇場交流広場

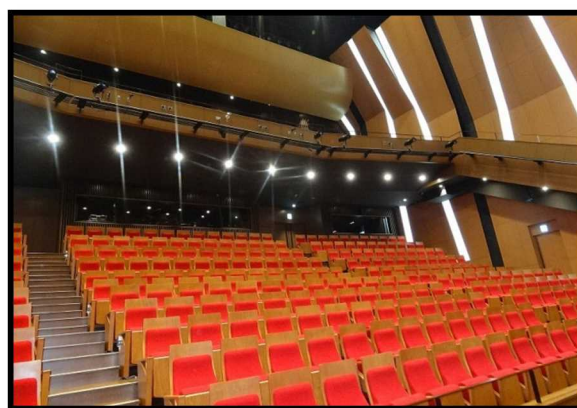


東海市芸術劇場リハーサル室

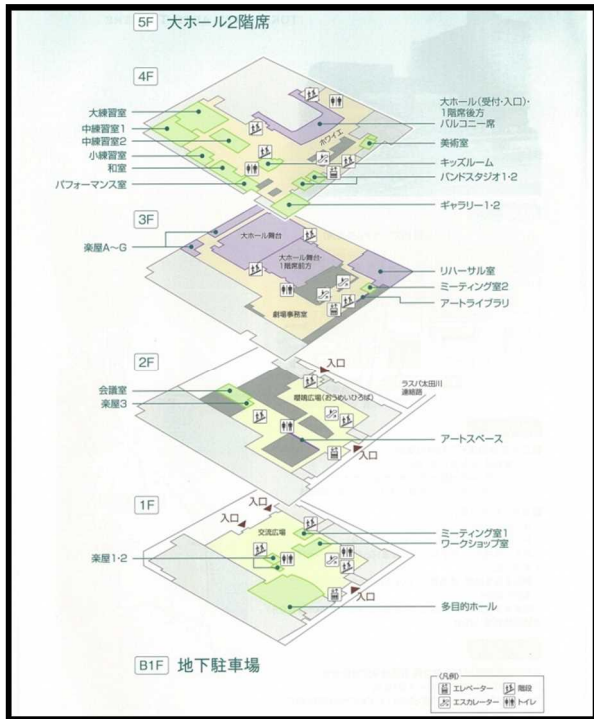
文化をメインテーマとしてギャラリーを併設した複合施設「東海市芸術劇場」を主に、商業施設内にある市民交流プラザ、青少年センター、女性センター、中央図書館、平洲記念館・郷土資料館、地区公民館・市民館や文化センター、そして居住、住居スペースに庭と公園を取り込み、人々が集い、交流、楽しみ、喜び、感動が生まれる空間として成功されている。



東海市芸術劇場大ホール



東海市芸術劇場大ホール(客席)



東海市芸術劇場フロアマップ

(4) 新潟県長岡市アオーレ長岡管外視察調査

【全国初の新公共施設を視察】

市民交流スペースのアオーレは方言で「会いましょう」という意味。



アオーレ長岡は、J R長岡駅前の旧長岡市厚生会館及び周辺の公園等を含めた、約1.5 ha の区域に厚生会館機能を受け継ぐ5,000人が収容できるアリーナを取込んだ新複合施設。



アオーレ長岡ナカドマ  
〔屋根付き広場〕

冬季でも様々な活動が可能なナカドマ（屋根つき広場）に市役所本庁機能を一体的に配置した複合施設が設けられ、まちなか型公共サービスの核となる施設として、休みや平日を問わず、新たな市民協働の拠点として運用されている。

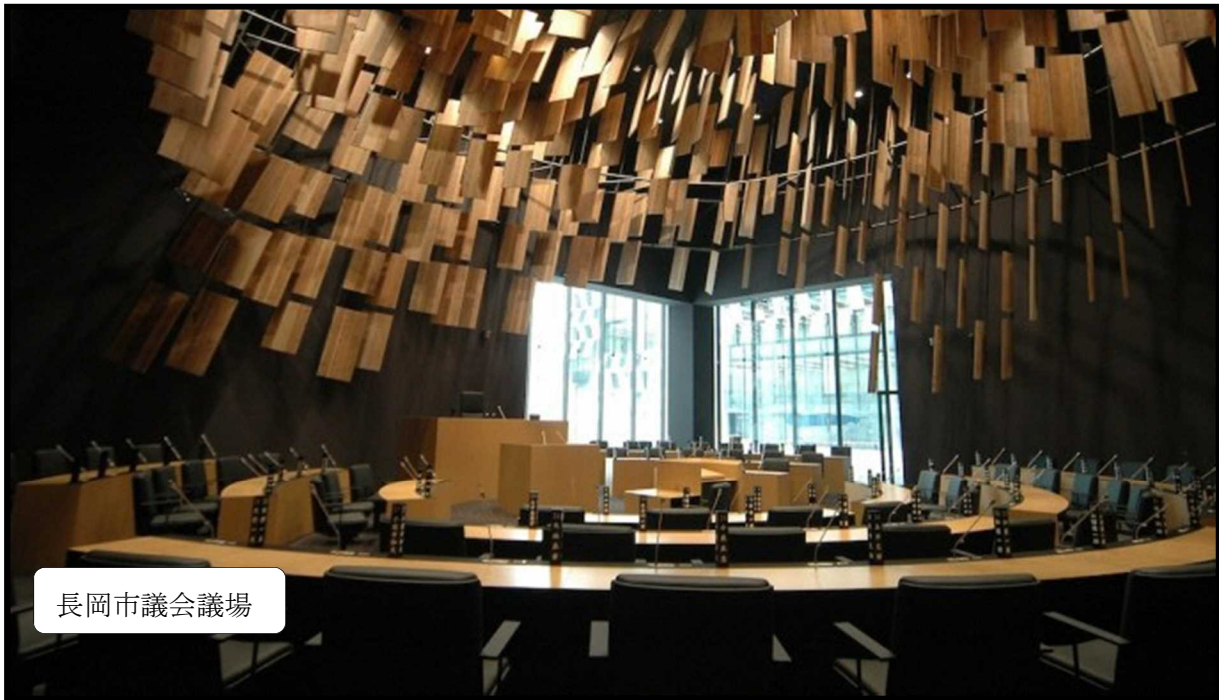


アオーレ長岡防災システム



アオーレ長岡ナカドマからアリーナ

市役所や市議会の外から見える議場などの特徴もあり、新しいコンセプトの公共空間として、無限の可能性を秘めたこの空間は、市民が自由な発想で使いこなすことによって、限りなく成長していくシティホールプラザとなっている。



長岡市議会議場

### 市民によるアオーレ長岡の運営

## アオーレ長岡の運営

～利用する市民が運営・行政は下支え～

NPO法人ながおか未来創造ネットワーク  
指定管理者制度ではなく市の直営でもない、「アオーレモデル」

- 利用する市民の視点に立ち、より自由度の高い運営を実現するために組織されました。役員や運営スタッフも市民を中心としたメンバーで構成されています。
- 市民が知恵やアイデアをばらばら、多くの意見を取り入れ、時には共に汗をかく運営スタイルです。
- 行政は、安定した運営ができるように、下支えとしてサポートします。

NPO法人ながおか未来創造ネットワーク

代表理事

副代表理事

監事

理事会

東芝元会長  
市民活動に取り組むみなさん  
地元職工芸、スポーツ、  
文化関係者 など

独立運営

※特・準的・準内  
課し出しスペース・催品の管理  
後援会・グループ  
シアターの運営  
ナカトマの運営  
自主イベントの企画・実施  
広報・PR など

運営事務局長

日本運営事務局長  
運営スタッフ

長岡市

安定した運営基盤を整備  
安全対策・トラブル対応・使用許可・ハード管理など

- ◆市民が使いやすい使用料と利用時間
- 「ナカトマ」「市民交流ホール」の使用料は無料です。(一般利用の場合)
- 施設の開放時間は、午前8時から午後10時まで。ただし、ナカトマや国選テラスは、24時間開放となります。
- 年末年始(12月29日から1月3日)を除き、1年中利用できる施設です。

また、新潟県長岡市では、ユニークな取り組みで新複合施設「アオーレ長岡」を中心に、各種イベントやスポーツをメインに取入れ、自然に多くの人が集い、協働・交流することから生まれる「賑わい」が創出されている。

アオーレ長岡の運営は、利用する市民が運営、行政は下支えというスタンスであり、指定管理者制度や市の直営でもない「アオーレモデル」となり、NPO法人ながおか未来創造ネットワークが運営を行なっている。

この組織は、役員や運営スタッフも市民を中心としたメンバーで構成されており、行政は、安定した運営ができるように下支えとしてサポートするのみで、長岡モデルとして「産官学金」の若者の総力で運営され、全国に発信されている。

#### (5) 委員間討議

2市の自治体の管外視察研修を終え委員間討議を重ねた結果、先進地成功事例として以下の3点が認識される。

- ① 市民の声を聞き、受け入れている。
- ② メインテーマがはっきりと示されている。
- ③ 運営面においても住民が主体的となっている。

#### (6) 平成28年12月16日 企画政策部への事務調査

前回の説明から、進展した点などについて、再度関係部局へ説明を求めるために事務調査を実施し、以下が明らかとなった。

- ① 計画の場所である約70件の地権者土地所有者の理解が得られ、先ず、地目の変更、市街化区域に編入でき、予定している都市的土地利用、都市機能の充実が図れることが先決であること。
- ② その後に、複合型施設整備の計画が進むように、庁内では副部長級の会議を立ち上げ、基本構想ができあがった時点で、直に取組めるよう取り組んでいる。
- ③ 計画周辺の関係する田辺区や農家組合の役員(14名)など「田辺地区のまちづくりを考える会」が立ち上がり、市が示す方向性に理解が得られ協議中であること。

調査後の委員間討議で、以前から課題となっている、まちづくりの理念、財源確保、ランニングコスト、インフラ整備などについて出された意見について、委員内で一致する点をまとめていくこととなった。

### 4 総括

総務常任委員会の所管事務調査として、「地方創生を生かしたコンパクトシティ構想」をテーマとして、先進自治体への管外視察調査、実施調査及び意見交換、また、委員間討議を通じて、次の4点を取りまとめた。

- ① コンパクトシティ構想のメインテーマ(理念)を定め、市民に情報発信すること
- ② 計画段階から治水対策に努めること
- ③ 公共交通、渋滞対策、道路網等のインフラ整備をすること
- ④ 人口、財政規模、維持管理コストを認識したうえで、施設整備を検討すること

以上、市民の意見に耳を傾けた、「新市街地」の整備に努められるよう、本市のまちづくりへの提言とする。

### 5 調査の経過

#### (1) 委員会開催日

平成27年 6月 1日 協議会 所管事務調査活動計画の協議

平成27年 6月 8日 協議会 活動方針、活動内容及び調査方法、調査事項の協議

平成27年	6月22日	委員会	委員間討議
平成27年	8月13日	協議会	委員間討議（管外視察先の協議等）
平成27年	9月16日	委員会	委員間討議（管外視察先の協議等）
平成27年	12月14日	委員会	委員間討議（関係部署への事務調査実施を決定）
平成28年	3月10日	委員会	市政方針を受けての新市街地整備計画の説明と質疑 委員間討議
平成28年	6月20日	委員会	委員間討議（管外視察先の協議等）
平成28年	9月13日	委員会	委員間討議（関係部署への事務調査実施を決定）
平成28年	12月16日	委員会	新市街地整備計画の進捗状況の説明と質疑 委員間討議
平成29年	1月17日	協議会	所管事務調査報告に向けての協議
平成29年	1月31日	協議会	所管事務調査報告に向けての協議
平成29年	2月16日	協議会	所管事務調査報告に向けての協議
平成29年	3月9日	委員会	所管事務調査報告書案の最終取りまとめ

## （2）派遣

平成27年	11月10日	愛知県東海市へ調査のため委員6名を派遣
平成28年	7月20日	新潟県長岡市へ調査のため委員6名を派遣